

前期教育研究員所内研修
所長講話 I

「学び続ける…ってどういうこと？」

島尻教育研究所 大城譲次所長による講話が、教育研究員を対象に、「学び続ける…ってどういうこと？」と題して行われました。「自主・自律」「違和感」「分からないということ」「大人の見識」「先生方の意欲・モチベーション」「日記のすすめ」等の内容を通して、研究員は、教職員として一社会人としての在り方を考える機会となりました。

【感想】

- たくさんのお本を紹介いただき、「もっと本を読んで自分自身を広げたい」と思った。自らがいろいろな考えに触れて学ぶことで、子供たちへ主体的に学ぶ姿勢を伝えていきたい。
- 「学び続ける」ことについて、「違和感」を放っておかず、自分と向き合うことだと思った。所長のお話のように、「昨日の自分より少しでも成長できるように」していきたい。
- 「学び続ける」という問いについて様々な視点から考えを深めることができた。「学び続ける」自分になるために何か行動を変えたいと思い、早速日記をつけ始めた。楽しみながら続ける中で自分の成長を感じたい。
- 「慣れ」に身を置くのではなく、「新しい挑戦」をし続け、そこから得られる多くの知識や学びを大切にしていきたい。「違和感」を新鮮に感じながら、自分に何ができるか考え、実施していく。



所長講話の様子

前期教育研究員所外研修
沖縄県立図書館見学

4月8日(木)に実施した「沖縄県立図書館」の見学を通して、学校における活用方法等について理解するとともに、学校教育の充実に関する視野を広げる機会となりました。

【研究員の声】

- バックヤード見学では、自動書庫の動きや本の数、棚の大きさに圧倒された。
- 社会のニーズや動きをしっかりと捉えた展示や貸し出しをされており、図書館から今の社会が見える感じがした。更に検索システムや最新の自動書庫等の設備も素晴らしかった。
- 子供たちに図書館をどんどん紹介し、ホームページを活用して、授業作りに役立てていきたい。
- 子供たちの読書活動や学習活動がより豊かになるように、県立図書館のさまざまなサービスを積極的に利用していきたい。



職員の説明を聴く研究員ら

6月の主な予定

1	火	三線クラブ③ しののめ教室教育相談 (～6/3)
2	水	指導講師検討会③ (～6/8)
3	木	しののめ教室スタッフ会議
7	月	検証授業計画書の提出 原稿提出 (所内検討会③) ミーティング
8	火	三線クラブ④ 室内検討会
9	水	所内検討会③「指導案」
10	木	所長講話Ⅱ 南風原町四園研修支援 (延期)
14	月	ヒアリング⑥「板書計画・模擬授業」
15	火	三線クラブ⑤ しののめ教室合同工作教室
17	木	幼児教育短期研修 (基礎ステージ②) Zoom
21	月	検証授業期間開始 (～7/9) 研究協力員公開授業「中学校英語①」糸満中
23	水	慰霊の日
24	木	しののめ教室スタッフ会議
25	金	しののめ教室合同体育
29	火	本検証授業「小学校国語3年」 (大城こずえ教諭) 馬天小

幼児教育短期研修「基礎ステージ①」

5月18日(火)に、公私立幼稚園・認定こども園・保育所(園)教諭等研修会「基礎ステージ①」が、Zoomを使ったオンラインで開催され、講師の沖縄県幼児教育アドバイザー 儀保つや子氏から「3・4・5歳児の発達段階・遊びとのかかわり」についての講話がありました。

島尻地区内における本島、離島の先生方48団体94名が参加し、保育を支える「専門性」や、『幼稚園教育要領』『教育・保育要領』『保育指針』に基づいた指導計画の作成等について耳を傾けました。

【参加者の声】

- 主体的な学びとはどのようなことなのかについて具体的な言葉がけの例が示され、分かりやすかった。
- 子ども主体って難しいと悩んでいたが、色水遊びの事例を見て保育者の声かけ一つ、環境の作り方で、保育者主導になったり、子ども主体になったりするとわかった。子どもの遊びの流れを見ながら、保育者主導にならないような声かけ、環境づくりをしていきたい。
- 遊びの中から学ぶ大切さを知り、明日からの保育にも繋げていきたい。
- 保護者への子どもの遊びを通しての育ちの伝え方について、良いヒントをもらえた。
- 指導計画の書き方など参考になる事を沢山知ることが出来た。